

# SDGsの達成にも貢献するBL-bs 部品

Better Living for better society

# 安心、安全、そして脱炭素など 住宅部品でつなぐミライの暮らし

戸建住宅を建設するためには、1万点を超える部材・部品が必要とも言われている。マンションなどの集合住宅でも膨大な量の部材・部品が使われる。こうした日々の暮らしを支える住宅部品が、より良い暮らしを未来へとつないでいく、そんな取り組みがある。



## 環境にやさしい生活に寄与する特長

### ①環境の保全に寄与する住宅部品

#### 【目標6】安全な水とトイレを世界中に

品目例 便器（超節水型）



#### ■節水

従来より節水仕様の製品の認定をしていますが、より節水性能が優れた製品を認定しています。



#### 【目標13】気候変動に具体的な対策を

品目例 サッシ（断熱型）、断熱改修用内装パネル（壁・天井）ユニット等



#### ■断熱

住戸内の温熱環境や省エネルギーの観点から、一定の断熱性能を有している製品を認定しています。



#### 【目標7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに

品目例 ガス給湯機（潜熱回収型）、太陽熱利用システム、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム等



#### ■省エネルギー

給湯機の給湯効率等がより優れた効率の製品を認定しています。また、給湯や暖房をする際に太陽光等の自然由来のエネルギーを使用する製品も認定しています。



### ②優良な住宅ストックの形成・活用に寄与する特長

#### 【目標12】つくる責任つかう責任

品目例 改修用サッシ、改修用玄関ドア等



#### ■ストック活用

既存枠を撤去する工事が不要なため、低騒音で短工期による省エネルギーの施工が可能な製品を認定しています。



※図中の目標の番号はSDGsの目標に対応しています。

日々の暮らしの中で静かに暮らしを支える住宅部品。その存在を意識したことはあるだろうか。例えばシステムキッチン。その安全性や使い勝手に少しでも問題や不具合があれば、日常の家事に影響を及ぼす。万が一の時に活躍する住宅部品もある。例えば防災安全合わせガラス。近年、数十年に一度と言われる台風が毎年のように発生し、多くの被害をもたらしている。防災安全合わせガラスは、割れにくく破片も飛散しにくいいため、台風時の飛来物衝突が安心・安全な住宅部品の証「BL部品」

BL部品の認定制度は、生活水準の向上と消費者保護を推進するために、ベタリービングが公正・中立な第三者として「優良」と認められる住宅部品を認定するもので、1974年から実施。現在、65品目が認定対象となっている。認定を受けるには、商品の品質や性能といったハード面だけでなく、アフターサービスが行き届いているか、一の事態にも対応しようというわけだ。これまでにこのマークが表示された住宅部品は累計で3億4千万にのぼる。

さらに、社会貢献優良住宅部品（BL・bs部品）という認定制度もある。BL部品のうち、社会的要請への対応を先導し、より良い社会の実現に貢献するものを認定する制度で、「Better Living for better society」より良い暮らしを実現していくことが、より良い社会へつながるという想いが込められている。まさにSDGsの理念と共鳴する考え方である。ベタリービングでは、2020年10月に「住宅部品×SDGs宣言」を公表、BL・bsの普及がSDGsの達成につながる取り組みを進めている。BL・bs部品が社会に貢献するテーマとして――

- 住宅部品からSDGsの達成に貢献**
- ① 環境の保全に寄与する特長
  - ② 優良な住宅ストックの形成・活用に寄与する特長
  - ③ 安心安全な生活に寄与する特長
  - ④ 高齢者・障がい者を含む誰もが安心して生活できる社会の実現に寄与する特長
  - ⑤ 防犯性の向上に寄与する特長
  - ⑥ 健康的な生活の実現に寄与する特長
  - ⑦ 防災、減災に寄与する特長
  - ⑧ 新たな社会的要請への対応に寄与する特長
  - ⑨ その他よりよい社会の実現に資する特長
- この8つのテーマにそった住宅部品について、BL・bs部品の認定を促していくことで、持続可能なミライの暮らしにつないでいくこととしているのだ。

日々の暮らしの中で静かに暮らしを支える住宅部品。その存在を意識したことはあるだろうか。例えばシステムキッチン。その安全性や使い勝手に少しでも問題や不具合があれば、日常の家事に影響を及ぼす。万が一の時に活躍する住宅部品もある。例えば防災安全合わせガラス。近年、数十年に一度と言われる台風が毎年のように発生し、多くの被害をもたらしている。防災安全合わせガラスは、割れにくく破片も飛散しにくいいため、台風時の飛来物衝突が安心・安全な住宅部品の証「BL部品」

BL部品の認定制度は、生活水準の向上と消費者保護を推進するために、ベタリービングが公正・中立な第三者として「優良」と認められる住宅部品を認定するもので、1974年から実施。現在、65品目が認定対象となっている。認定を受けるには、商品の品質や性能といったハード面だけでなく、アフターサービスが行き届いているか、一の事態にも対応しようというわけだ。これまでにこのマークが表示された住宅部品は累計で3億4千万にのぼる。

- 住宅部品の証「BL部品」**
- BLは、Better Livingの頭文字。まさにより良い暮らしを支えるための認定制度である。
- BLは、Better Livingの頭文字。まさにより良い暮らしを支えるための認定制度である。
- 在庫がしっかりとあるかといったソフト面でも一定の水準をクリアすることが求められる。認定を受けた住宅部品は「BLマーク証紙」を貼付することができ、加えて、マークが表示された商品には、瑕疵保証と損害補償の両面から安心を担保するBL保険が付与される。第三者の目で住宅部品を評価した上で、保険によって万が一
- 被害などを軽減する役割を担っており、非常時にその実力を発揮する住宅部品だ。国の「こどもエコすまいる支援事業」の補助対象にもなっている。しかし、住宅に数多く採用されている住宅部品も、その性能や品質に問題があれば、暮らしを支えることはできない。暮らしに密着した住宅部品だからこそ、安心して使用できる「証」が必要になるのだ。
- 住宅部品に安心の「証」を与える制度がある。それが、(一財)ベタリービングの優良部品(BL部品)認定制度だ。

## SDGsの達成にも貢献するBL-bs部品

### 安心安全な生活に寄与する特長

③ 高齢者・障害者を含む誰もが安心して生活ができる  
社会の実現に寄与する特長

【目標10】 人や国の不平等をなくそう

【目標11】 住み続けられるまちづくりを

品目例 ドアクローザ（引き戸用）、住宅用火災警報器 等

#### ■ 高齢者等対応

高齢者等を対応として、扉の幅、扉の指はさみを防止する対策、床面の段差等について配慮された製品を認定しています。



④ 防犯性の向上に寄与する住宅部品

【目標11】 住み続けられるまちづくりを

【目標16】 平和と公正をすべての人に

品目例 玄関ドア、面格子、玄関ドア用錠前等

#### ■ 防犯

官民合同会議が定めた試験方法で、5分の侵入抵抗を持つ高い防犯性能を有する製品を、防犯性の向上に寄与する特長を有するBL部品として認定しています。



⑥ 防災・減災に寄与する特長

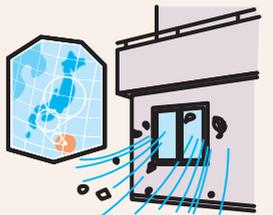
【目標11】 住み続けられるまちづくりを

品目例 防災安全合わせガラス

【目標13】 気候変動に具体的な対策を

#### ■ 防災

台風等の災害に対するレジリエンスの向上に寄与することを目的とし、飛来物衝突被害や水害および地震、火災などによる被害を軽減する「防災に寄与する特長を有する住宅部品」として認定しています。



### 新たな社会的要請への対応に寄与する特長

⑦ 家事及び労働の負担軽減と経済性に寄与する特長

【目標8】 働きがいも経済成長も

品目例 自動浴槽洗浄システム、宅配ボックス

#### ■ 家事負担軽減

共働き世帯の増加や高齢化等により、家事の負担を軽減する住宅部品への関心が高まっていることから、「家事負担軽減に寄与する特長を有する部品」として認定しています。



※図中の目標の番号はSDGsの目標に対応しています。

## より良い社会、

## 持続可能な暮らしのお手伝いを

(一財)ベターリビング 眞鍋純理事長



日々の暮らしを支える住宅部品においても、カーボンニュートラル、災害の激甚化、健康に対する意識の高まり、家事や労働負担の軽減などの多様な社会課題への対応が求められています。広い層からの社会的ニーズに応える部品の認定・普及を図ることが、ベターリビングの大きな責務であると考えています。

例えば、BL部品の認定対象に追加した「宅配ボックス」。かつて一般的な住宅ではあまり見ることはありませんでした。ですが、増大する再配達が社会問題とされ、環境への負荷やドライバーの方の負担を軽減することが重視されています。

共稼ぎで在宅時間の限られるケースや、コロナ禍の中では対面での受け渡しを避けたいとするニーズもあります。宅配ボックスはこうした課題や要請に応える住宅部品であり、単に便利だけでなく、社会的な意義の高いものとして普及が求められています。ベターリビングでは、宅配ボックスに要求される性能を基準化し、社会貢献優良住宅部品(BL-bs部品)として認定し普及を進めています。

より良い住まい・暮らしの実現と、より良い社会への貢献へのお手伝いができるよう、これからも考え続け、積極的に取り組んでいきたいと思えます。



### 未来がすくすく。 ブルー&グリーンプロジェクト

ベターリビングとガス業界が共に推進している「ブルー&グリーンプロジェクト」。

「未来がすくすく」を合言葉にして、脱炭素化に貢献する高効率ガス給湯・暖房機の販売台数に応じて、植樹活動の支援を行っている。2006年の6月、「ガスで森をつくる」をキャッチフレーズにプロジェクトが開始し、ベトナムでの植樹活動の支援をスタート。約8年にわたる植樹活動で390万本(約2200ha)もの植樹が行われた。その後、舞台は岩手県陸前高田市の高田松原へと移った。東日本大震災で失われた高田松原の再生に取り組むNPO法人 高田松原を守る会と共に植樹活動に取り組んでいる。2017年から2021年の5年間で約1万本の松苗を提供。2022年4月からは高田松原の保育活動もスタートさせている。

高効率ガス給湯・暖房機の普及と植樹活動によってダブルで脱炭素化に貢献する「ブルー&グリーンプロジェクト」。植樹された緑たちと共に、未来につながる暮らしやコミュニティをすくすくと育てていくための挑戦は続く。

### 「あたたか住まい」で健康に

ヒートショックなどによって、1年間に入浴中に急死する人は約1万9000人に達するという推計がある。

そこでベターリビングでは、「健康に暮らすためのあたたか住まいガイド」を発行し、健康に暮らすための注意事項を広く知らせる活動も進めている。

こうした「適切な温度で健康に安心して暮らせる住まい」の実現に向けては、住宅関連事業者団体等による「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」が設立され、一丸となって取り組んでいる。ベターリビングはそのフォーラムの事務局も担っている。



「健康に暮らすためのあたたか住まいガイド」



「住宅における良好な温熱環境推進フォーラム」

#### INFORMATION

一般財団法人ベターリビング  
https://www.cbl.or.jp/index.html/

